平成 20 年 3 月 1 日
第 10 号

やかたばら環境通信

◇◇ 発行 ◇◇
八方原の環境を守る会
代表 原田憲一郎
電話 972・7602

排水路管理の安全を確保

用水路横断渡り板を改良



引き上げた電信柱材を切断して、トラックで運搬する。雨で湿った木材はずっしりと重い。

昨年の夏の点検作業で危険性を指摘した水路横断板。2月3日(日)に「八方原の環境を守る会」役員を中心に改良作業を行いました。

事前に用意した部材を現場の寸法に合わせて調整し、従来から置かれていた電信柱材を利用した渡り板を撤去しました。

二本の電信柱に渡された板は既に傷んだものも多く、これ以上の使用には耐えられないものもありました。

新しい渡り板は鉄板に歩行の補助となる部分を取り付けたものです。今後の水路管理の利便や安全性の確保が図られるものと期待しています。

また、用水路の暗渠（トンネル）部分が水量によって上端まで水がくることがある部分に吸い込み防止の柵も作成し、設置しました。

部材の加工や材料の調達には、新町の波多野洋司さんが協力してくれました。波多野さんはこれからも協力を惜しまないと約束してくれました。



改良された渡り板（森下アパート付近）

寒さを吹っ飛ばす「八方原パワー」地域づくりに一役

小郡地域の魅力を見直して、小郡をもっと元気にしようというまちづくりイベント「もっパラおごおり」が2月24日小郡ふれあいセンターで行われました。

八方原地区からは生活改善グループのうどん販売、朝市の新鮮野菜販売が団体として参加しました。またJA山口中央小郡支部青壮年部の「餅つき」にも地区から何名も参加、八方原パワーを発揮しました。

大会前日の夜から雪まじりの悪天候となりましたが。当日は寒さを除けば何とか凌げる天気となり、それぞれ予定の成果を上げることができたと思います。



昼食時には長い行列ができたうどん販売所

歴史的な古木も今や悩みの種

本田勝一さんの庭にある大木が、道路にせり出して、自動車などの通行に支障が出ています。近隣の人たちがせり出した木の一部を切り取って対応していますが、この大木がちょっとした問題を引き起こしています。

木の種類は「たぶ」と呼ばれています。関係資料を調べてみると常緑の高木とあり、古来神様の宿る木とされているとありました。そのため「霊（たま）の木」と呼ばれていたものが「たぶのき」と呼ばれるようになったのではないかという説明もありました。「犬楠」とも呼ばれるそうで、楠の「親戚」かも知れません。、たぶの木の樹皮は線香に加工されることがあるようですし、木材としては家具の材料としても利用されています。

問題はこの木の大きさです。根回りは3メートル余りになるでしょう。樹木に詳しい、林博一さんは「4～500年は経っているだろう」と話しています。この地域の中でも古木中の古木に違いありません。ただ、根のすぐ上には大きな空洞が出来ていて、健康状態は決して良くありません。

本田さんは切り倒したい気持ちはお持ちのようですが、何しろ大きな木です。おいそれとは行きません。台風などで倒れるようなことも考えられますし、なんとかしないといけません。

名案が見つかると良いのですが。



たぶの巨木の前で、困惑気味の本田勝一さん

○○ 地区総会のご案内 ○○

地区の年度末定例総会が開催されます。地区の重要な話し合いですので全戸のご参加をお願いします。

日時　平成20年3月9日（日）
**　　午後6時30分より**
場所　八方原公民館
話し合いの内容（予定）
**　　新年度のゴミ収集・補助、交付金など**
**　　バス路線の変更など**
**　　役員改正・その他**

衛生部からのお願いです ○○○○

資源物の分別にご協力ありがとうございます。各家庭の積極的な取り組みが現在問題になっている「地球温暖化防止」に貢献することになります。

空ビンの収集は月1回ですが、指定されたカゴの中ではなく持参された袋のまま置いて行かれる人があります。カゴの外にあるものは収集されません。必ず、袋などから出して指定されたカゴの中に入れてください。



また空ビンのキャップを取り除くために備え付けてあった工具（大型プライヤー）が不明になっています。心当たりの方は衛生部長までお知らせください。

佐々木章さんの農作業所横にある集積所に新聞紙類を出される方があります。この地区では新聞類は月1回のリサイクル作業の処理としています。衛生部では発見したおりには濡れないように保管していますが、いつも対応が出来るわけではありません。みなさんのより一層のご協力をお願いします。

東京都心を走り抜く

杉山均さんが2年連続東京マラソンを完走されました。このマラソンは東京都心を走り抜く国内最大級の大会です。今回の参加希望は20万人に及び、その中で抽選で選ばれたランナー3万人余りが健脚を競いました。

杉山さんは昨年末から足の故障に悩まされ、十分な走り込みが出来ないままの挑戦となりました。

不十分なコンディションを克服するのもベテランランナーの実力。完走おめでとうございました。